

医師はいつでも患者様の身近にいる存在。
患者様がどんな毎日を過ごし、
どんな生活背景を持っているかを知ることから、
患者様と医師の信頼関係は生まれます。
民医連はいつでも患者様の立場に立ち、
真剣にアプローチしています。
ぜひ、実習に参加し、
そんな生の姿を見ていただきたいのです。
きっと、将来役に立ちます！

どんな医師を
目指していますか？

病院実習のすすめ ——「まだ早い」と思っている人へ



東一 医師 (1995年京都大学卒)
● 尼崎医療生協病院 内科



卒後研修をどここの病院で受けようかと迷う学生の合同卒研説明会(要するに病院が集まった就職説明会)に参加した時のこと。学生と話をすると、「まだ5年生だから詳しいことはわからない、決めていない、病院実習に行っていない」という5年生が多かった。「自分の進路を考えるには、『まだ5年』じゃなくて、『もう5年』なんだよ」という話をしたら、えらく感銘を受けていた。

これは使えると思い、札幌医大4年生に「医学生の学習スタイル」という講義をしたとき、「『まだ4年』じゃなくて、『もう4年』」というフレーズを入れたら、やはり感想文で「印象に残った」という記載が多かった。

中高学年は、あまり面白いと思えない大学の勉強を続けながら、今のままでいい医師になれるのだろうかという漠然とした不安をもっているようだ。

では、低学年、特に1年生はどうだろうか。しんどい大学受験を通り過ぎ、大学に入ったということで解放された気分になり、クラブ、遊び、交友関係、バイトなどに浮かれて、「病院実習なんて、まだまだ先の話」と思っていないだろうか。

学生と話をすると、よく「高い臨床能力を身に付けたい」と言う。では、「高い臨床能力」とはどんな能力で、それを身に付けるにはどうしたらいいのだろうか。

医学教育の考え方は欧米で模索と理論化がすすんでいる。欧米の医学教育では、現実はいまいで不確定で個人差が大きくて感情がからんで教科書的でないという前提から出発し、あまいさの中で根拠をもっていかにベストな決断をくだしていくかというdecision making, clinical reasoning, その判断に基づいて行動しながら、その行動が妥当かどうか振り返り軌道修正していくreflectionという能力の獲得が強調されている。一言で言えば、臨床能力とはあまい現実に対す

る問題解決能力である。そのためには、早期から実際の患者様で問題を把握し、考えていくという教育が組まれている。早期から患者様に触れさせるのは、プロ意識を高めるという目的もある。

日本の教育では、受験勉強から大学の勉強、国試勉強に至るまで、正解の設定された問題を解き、その答を覚えるという学習スタイルが当たり前になっている。こういう正解暗記型の思考では、複雑な臨床を乗り切っていくには、マニュアル本を読んで恋愛を成就させようとするようなものだ。

基礎医学を臨床に適用したものが臨床医学であり、臨床医学を患者様に適用することが臨床である、という考え方に基づき、医学教育は一般教養→基礎医学→臨床医学→臨床実習→臨床という組み立てがされてきた。この枠組みでは問題解決能力は身に付きにくいということが欧米で認識され、教育の考え方が変わったのだが、日本ではまだ色濃く残っている。この枠組みでは、「医者になるぞ!」という思いで大学に入ってきた学生が、いきなりモチベーションを下げ、遊びに走る。欧米をまわって、1年生で病院実習を入れる大学も増えてきたが、何が獲得目標で何をせたいかがわかってないので、ただの見学になって、学生には不評である。

低学年では、もちろん医学知識は乏しい。そういう意味では何もできないのだが、患者様とコミュニケーションを図り、思いを汲み取る経験はできる。それが、プロ意識や学習のモチベーションにつながる。また、現実が正解の丸暗記では対応できないということも、早い時期に身をもって知り、学習スタイルを変える必要がある。

1年生だと、「まだ1年生だから、病院実習なんて早すぎる」という気分があるだろう。しかし「まだ医学生」ではなく、「もう医学生」なのだ。



01 自分でつくる 実習・見学体験。

医師への道を歩みはじめたみなさんは医療者側の目で医療現場を見た経験は少ないと思います。特に低学年の方はほとんど経験はないと思いますし、高学年の方でも中小の病院で実習した経験のある方は少ないのではないのでしょうか。外来・病棟・往診・訪問看護・検診活動・デイケア・患者会などの地域医療、救急医療やリハビリテーションなどいろんな医療や場面があります。みなさんにはそんな生の姿を見ていただきたいのです。どんな医師になるのか、医学部を選んだときの初心、動機など、思い起こされる方も少なくありません。ぜひ、一度実習に参加して多くのものを吸収して下さい！ きっと、将来役に立ちます！

当直(夜間救急)体験コース



様々な疾患が集まる救急医療夕方から翌朝までの間、救急で病院に運び込まれる様々な疾患を目の前で見学することができます。地域医療の第一線臨床現場では、外傷から発熱、一刻を争う心筋梗塞など様々な救急の現場を指揮し人の命を守るため懸命に働く医師の姿。プライマリケア能力の重要性を痛感することでしょう！

在宅患者往診コース



地域医療の原点がここに病院や診療所では日常的に地域の患者様のお宅へ出向き、在宅往診や訪問看護などに取り組んでいます。それらに同行し医師や看護師が取り組む在宅医療を見たり、患者様と直接話をしたりしながら地域の在宅医療の実態を体感できます。是非、地域医療の原点である在宅へ出かけてみましょう！



研修医密着病棟コース

奮闘する研修医たち…理想の研修とは？

実習では1年目から5年目までそれぞれの段階で奮闘する研修医の1日の流れを見学することができます。兵庫民医連は「地域医療を支える研修医を育てる」という視点で、地域と病院が一体となって研修医育成に力を入れてきました。兵庫民医連の初期臨床研修に関する詳細は、研修ガイド「これが私の研修医生活」をご参照下さい。



手術見学コース

オペ現場の緊迫感を体感学年を問わずに参加できるオペ見学ということもあり、特に低学年に人気があります。手術着に着替えて手洗いをし…内視鏡を使う手術や開腹手術など実際に目の前で見ることができます。「早く医師になりたい」という思いが膨らむことでしょう。



ホスピス見学コース

最後まで自分らしく生きるということ

東神戸病院、尼崎医療生協病院のホスピス(緩和ケア病棟)では、癌などの終末期を迎えた患者様の疼痛や倦怠感など、辛い症状を緩和し最後まで自分らしく生き抜くことができるよう全人的なケアを行う病棟です。患者様の家族も含めたサポートを心がけているスタッフの姿はきっと印象深く心に残ることでしょう。実習ではホスピス看護体験やボランティア体験、医師との懇談、病棟回診などが体験できます。



産婦人科/分娩見学コース



命が誕生する感動を

尼崎医療生協病院では、自然分娩や帝王切開等の見学が可能です。人の命が誕生する感動的な瞬間に立会い、それをサポートする医師の姿を見ることで、きっと心温まる感動が体験できるでしょう。小児科との連携も含めて一連のチーム医療の動きを知ることができます。

※実習参加は女性限定です。状況によってご希望に添えないケースもあります。

家庭医体験コース

家族志向型医療・地域総括ケアに触れよう

2007年2月兵庫民医連家庭医療学センター(HMCFM)が誕生し、尼崎医療生協・本田診療所および、姫路医療生協・共立病院にて家庭医療後期研修プログラムを提供しています。あなたも家庭医と出会い患者中心・家族志向型の医療、地域包括ケアの現場で家庭医療の現場にふれてみませんか？



障害児医療体験コース

軽症から重症児まで
ふさわしい質の高いケアを

尼崎医療生協病院では25年以上にもわたり障害児医療に携わってきました。乳幼児期から成人までに至るQOLの管理はもちろん、患者様家族も含んだ包括的なケアを地域で実践してきました。実習では障害児往診や病棟見学などが体験できます。



組み合わせ自由! 実習プログラム例

診療所体験コース

	午前	午後
1日目	オリエンテーション / 外来見学	訪問看護に同行
2日目	医師の往診に 同行	在宅実習 (往診)
3日目	在宅実習(往診)	医師との懇談、 まとめ

ホスピス見学コース

	午前	午後
1日目	オリエンテーション / 病院内見学	ホスピスボラン ティアに参加
2日目	ホスピス病棟看護 体験	医師との懇談、 まとめ

研修医密着病棟コース

	午前	午後
1日目	オリエンテーション / CT・MRI見学	研修医に同行 (病棟)
2日目	心電図学習会、 外来見学	研修医に同行 (病棟)
3日目	内科・ICU回診	研修医との懇談、 まとめ

実習&見学案内

- 実施日 実習・見学ともに、1年を通して随時受付しています。
※土日祝日、及び年末年始除く
- 実習期間 1日～ご希望の日数。
- 実習・見学先 希望の病院・診療所をお申し出下さい。
※実習内容により限定される場合があります。
- 食事 昼食はこちらでご用意します。
- 持参するもの 白衣、聴診器、筆記用具
※お持ちでない場合はこちらで準備します。
- 参加費 無料
※実習・見学先までの交通費は自己負担をお願いします。
※宿泊が必要な方はご相談下さい。

申し込み・お問い合わせは

兵庫民医連<医学生担当>まで
フリーダイヤル 0120(404)310
✉ igakusei@hyogo-min.com

その他いろいろ⇒診療所体験コース/リハビリ・デイケア体験コース/患者体験コース/健康班会体験コース/
外来見学コース/他職種体験コース etc...

02 実習にむけてのアドバイス & 実習参加者の声。

和田 陽介 医師 (2003年山口大学卒)

- 2003年 4月 尼崎医療生協病院にて研修をスタート
- 2004年 4月 耳原総合病院にて総合内科研修
- 2005年 4月 東神戸病院にて内科病棟研修
- 2005年12月 ろっぽう診療所にて診療所研修
- 2007年 4月 尼崎医療生協病院にて内科病棟研修

病院実習へ行こう!

みなさんは病院実習というと、どんなイメージが浮かぶでしょうか? ポリクリやマッチング前に仕方なく行くイメージでしょうか。私自身も、学生のときは先生から難しい質問を浴びせられたり、相手をしてもらえずほったらかしにされる、そんな印象しかありませんでした。

そんな中で、市中病院にあえて自分の時間を使って実習に行く意義は何なのでしょう。私は、第1に楽な気持ちで医療現場を感じる事だと思います。大学の正規の実習では、レポートなど様々な課題をこなすプレッシャーがつきまといまいます。まずはそういうプレッシャーのない状況で気楽に医師やコメディカルの仕事ぶりや患者様の表情を見てみて下さい。

第2に、幅広い医療環境を知ることだと思います。大学病院は非常に特殊な病院です。世間の大多数を占める一般

病院を知らずして、自分の進路を決めるのはもったいないと思いませんか。病院だけではなく、診療所、在宅も重要な医師の活躍の場です。私は医師になって3~4年目で診療所研修をしました。

病院と診療所では求められる能力や患者層、他職種との距離が全く違っていました。こうしたことは実際に行ってみてはじめて気が付くことです。病院でも昼と夜ではまた違う表情があります。当直実習で夜中にふらっと現れる患者様の意外な訴えを聞くのもおもしろいですよ(そういう、先日の当直では、なめくじを食べてしまった方が来られました...)

私たちの病院・診療所の実習メニューは自由自在です。みなさんの興味のある医療現場を少し覗いてみませんか? さっと、その日から世界が大きく広がるはず? です。



実習参加者の声

「在宅医療は、大学での講義(老年医学)だけで実習はなかったので、

医師に求められているものが実際どのように行われているか

見学できて良かった。(O大学6年 男性)

「先生方は信念を持って働いていることが良く伝わりました。

中規模病院の良さを実感できて良かったです。

(S医大5年 女性)

「3年後、自分がどの病院で研修するかによって医師としての成長に大きく関わることだと思いますので、

今日学んだことを今後に生かしていきたいと思えます。

(F大学3年 女性)

「幅広い知識を持って患者様を診ている姿を見ることができました。

医師としての技術・知識の必要性を体験

することができました。(A医大5年 男性)

「往診の実習に参加。

その場の患者様の状態に応じた対応に感心した。

(T大学2年 男性)

「生まれて初めてオベを見学したので、全てがすごく新鮮だった。

オベに至るまでも準備(麻酔や挿管など)があり、術後も病理解剖があったりと、大変だがすごくやりがいがあると思った。

(O大学2年 男性)

「主に病棟での処置やカルテチェック等を見させていただいたが、

患者様のあらゆる背景を大切にされた全人的な医療

が行われていることを改めて実感した。

大学でポリクリを見てきて

「疾患>患者様」の構図ではなく、「疾患<患者様」の構図があり、

本来の医療はこうあるべきで、このようなところで自分は働きたいと強く実感した。

(F大学5年 女性)

「すごく充実した実習になった。民医連の病院はそういうところが多いのかも

知れませんが、病院自体や区局に対して良いイメージを持って帰れます。ありがとうございました。(F大学4年 男性)

03 兵庫民医連の医療活動。

兵庫民医連は、結成以来、「いつでも、だれでも、どこでも安心してかけられる医療」を常に目指し、患者様や地域の人々とともに対等平等な関係で医療を作ることを目指しています。差額ベッド代を一切いただかず、医師をはじめ、看護師・薬剤師・技師など医療スタッフがチームとなって「患者様の立場に立つ医療」を実践しています。また、病院・診療所を支える地域の組合員数は15.4万人を超え、県下でも有数の医療団体となっています。

在宅医療



これからの時代、病院や診療所に通院する患者様だけでなく、通院することが困難な患者様を在宅でどのように診てゆくかが問われています。兵庫民医連では、往診や訪問看護が制度化される前から在宅分野に取り組み、今も地域の方々から厚い信頼と期待が寄せられています。まさに、地域医療の原点です。

ホスピス

2000年に東神戸病院、2007年5月に尼崎医療生協病院に開設されたホスピス病棟では癌などの終末期の患者様に疼痛緩和をはじめ全人的なケアを行っています。病棟スタッフのみならず独自のボランティア組織もあり、患者様の家族を含めて「最後まで自分らしく人としての尊厳を守られて生きたい」と願う思いに精一杯のサポートをしています。一般病棟と同じく、差額ベッド代をいただいでいません。



リハビリテーション



作業療法・理学療法・言語療法の3分野に加え、高齢者通所リハビリ(デイケア)など、患者様の身体機能の回復・維持を目指しています。通所だけでなく病棟や在宅にも力をいれ、病気や事故で身体的リハビリが必要な方へのサポートを行っています。

障害児医療

尼崎医療生協病院では、障害児(者)医療に1980年から取り組んでいます。今では、重症児の方でも在宅でも生活ができるようになり、定期往診にも取り組んでいます。重症児を抱える家族の負担を少しでもサポートできる医療機関の役割はますます重要です。毎年恒例の障害児一泊交流会等を通して、親同士の交流にも力を入れています。



急性期医療/各種手術



各病院では、地域の「2次救急当番」を担い、病気や事故により救急車で運び込まれる患者様の対応にも全力をあげて取り組んでいます。もちろん、時間外や夜間の対応も実施しています。また、手術も幅広く行っており、外科分野・整形分野等問わず、1病院あたり年間数百件を実施しています。

各種カンファレンス

「チーム医療」を信念とする私たちは医師・看護師・薬剤師・技師・MSWなど多くのスタッフが意見交流する形で一人一人の患者様に最善の医療を提供できるよう努めています。また、医師間でも様々な症例に関して日常的に各科の壁を越えてカンファレンスを行っており、各々レベルアップを図っています。



地域との連携(組合員活動)



兵庫民医連では、各法人ごとに病院や診療所を支える「共同組織」という団体があり、趣旨に賛同していただいた患者様や地域の方々任意で組合員になっていただいています。その組合員数は県下で15.4万人を超えています。それぞれの組合員はまちづくりや街角健康チェックを実施し、地域からの要求を出していただいたり、出資金という形で病院や診療所の経営を支えたり、参加していただいています。私たちも大腸がんチェックや乳がん検診等の健康診断を低料金で実施したり、健康班会を無料で開催し、医療知識の普及に努めるなどしてお互いに支えあいながら地域に密着した保健予防活動や医療活動を展開しています。また、健康まつりやボランティア活動などの企画も行い、多くの地域住民の方に親しまれています。

04 充実した研修施設とネットワーク。

兵庫民医連は、病院や診療所などが集まり「いつでも、だれでも、安心してより良い医療が受けられること」を目指している医療機関です。兵庫県下に、病院4、診療所20、訪問看護ステーション21、訪問介護ステーション13、通所リハビリステーション2、居宅支援事業所9、特養老人ホーム2、調剤薬局14、包括支援センター1、歯科診療所7、短期入所施設1、通所介護事業所9、訪問入浴事業所2、福祉用具貸与事業1、その他2、合わせて108の事業所から成り立っています。(2007年2月現在)

臨床研修協力施設
姫路医療生活協同組合
9 共立病院
56床/内:消・循・呼・リハ・精・神・経・小・児・放・整
〒670-0822 姫路市市川台3-12
TEL0792-85-3377
以下の診療所での実習も可能です
●ヘルスコープあほし診療所

臨床研修協力施設(地域医療研修施設)
たじま医療生活協同組合
10 ろっぽう診療所
内:小児・理療・物療
〒668-0851
豊岡市今森465-1
TEL0796-24-7007

臨床研修協力施設(地域医療研修施設)
宝塚医療生活協同組合
6 高松診療所
内:小児
〒665-0041
宝塚市御所の前町15-21
TEL0797-72-2585

臨床研修協力施設(地域医療研修施設)
宝塚医療生活協同組合
5 良元診療所
内:小児・皮・理療
〒665-0055
宝塚市大成町10-45
TEL0797-71-7288

臨床研修協力施設(地域医療研修施設)
8 いたやどクリニック
内:外・小児・皮
〒653-0853
神戸市長田区庄山町1-9-12
TEL078-611-3681

協力型臨床研修病院
神戸医療生活協同組合
7 神戸協同病院
199床/内:外・整・皮・泌・放・消・循・呼・神・内・理療・精(療養型)
〒653-0041 神戸市長田区久保町2-4-7
TEL078-641-6211
以下の診療所での実習も可能です
●番町診療所
●ひまわり診療所
●みつわ診療所(在宅専門)

臨床研修協力施設(地域医療研修施設)
2 萌クリニック(在宅専門)
〒661-0033
尼崎市南武庫之荘10-62-17
在宅総合センターふる里内

07年5月新設
管理型臨床研修病院
尼崎医療生活協同組合
1 尼崎医療生協病院
199床/内:外・小児・産・婦・循・呼・消・神・経・整・皮・理療・放・眼(緩和ケア)
〒661-0033 尼崎市南武庫之荘12-16-1
TEL06-6436-1701
以下の診療所での実習も可能です
●戸ノ内診療所 ●潮江診療所 ●東尼崎診療所
●長洲診療所 ●ナニワ診療所 ●本田診療所

協力型臨床研修病院
特定医療法人 神戸健康共和会
3 東神戸病院
166床/内:外・小児・整・泌・大・肛・放・産・業・理療・精(緩和ケア)
〒658-0051 神戸市東灘区住吉本町1-24-13
TEL078-841-5731
以下の診療所での実習も可能です
●東神戸診療所 ●生田診療所
●柳筋診療所 ●大石川診療所

臨床研修協力施設(地域医療研修施設)
4 ホームケアクリニック
〒658-0051
神戸市東灘区住吉本町2-19-1
TEL078-857-1132

数字でわかる 病院のこと (2006)

■ 尼崎医療生協病院(199床)
1日平均外来患者数…………… 530人
入院患者数(稼働率)…………… 165人
1日平均救急外来患者数…………… 34.5人
年間平均救急搬送患者数…………… 659人
年間分娩件数…………… 545人
地域小児二次救急当番日…………… 週1回

■ 東神戸病院(166床)
1日平均外来患者数…………… 375人
入院患者数(稼働率)…………… 145.3人
年間平均救急搬送患者数…………… 811人
地域内科二次救急当番日…………… 月3回
地域外科二次救急当番日…………… 月2回

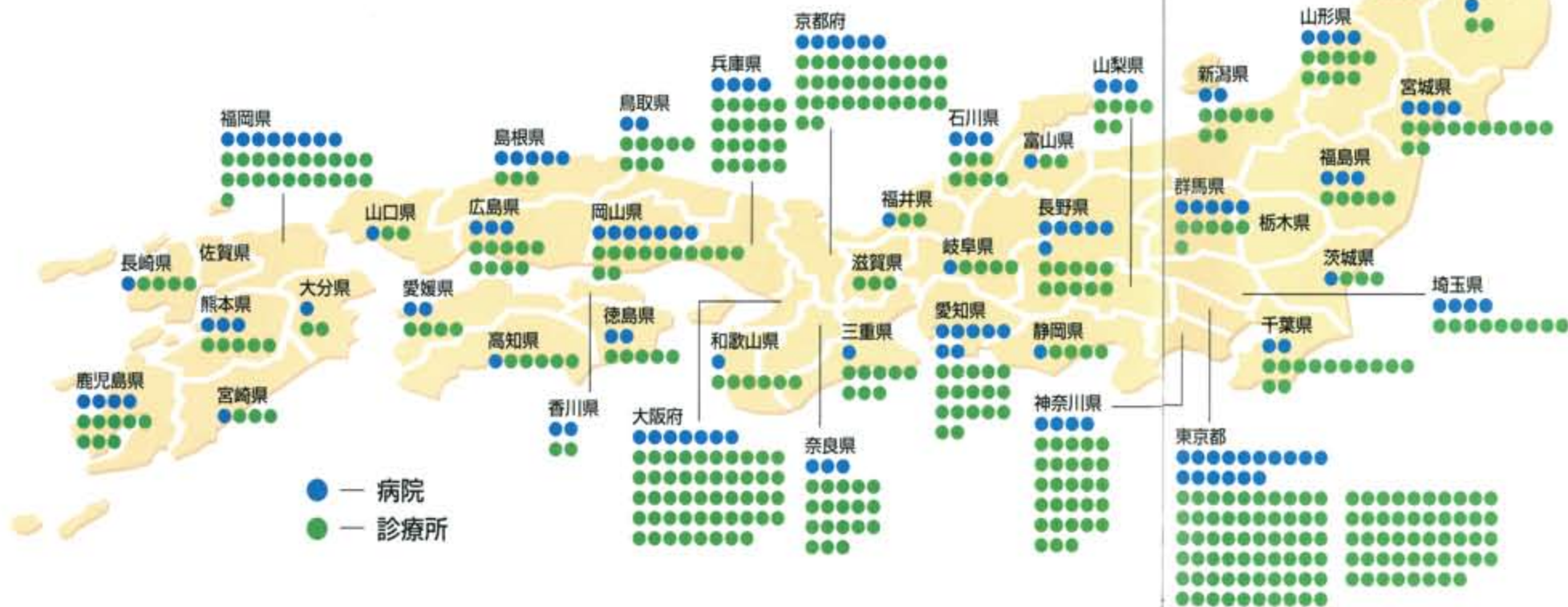
■ 神戸協同病院(199床)
1日平均外来患者数…………… 431.2人
入院患者数(稼働率)…………… 176.3人
年間平均救急搬送患者数…………… 391人
地域内科二次救急当番日…………… 月3回

※2006年調べ

05 全国にひろがる 民医連の医療。

民医連って何？

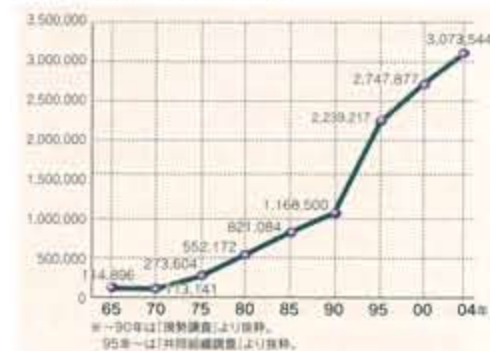
正式名称「全日本民主医療機関連合会」といいます。民医連は医療機関の連合体です。終戦直後の日本は、飢餓と失業と貧困、さらに衛生状態の極度の悪化により疾病が増大していきました。医療機関は荒廃し医療保険も不完全な状況の下、医療に恵まれない人々の「お金の心配をしなくてもかかれる自分たちの医療機関がほしい！」という声に、地域住民と医療従事者が手を携えてつくったのが民医連の事業所です。以後、半世紀以上にわたり地域の人々に支えられ「身近な医療機関」として保健・医療・福祉の総合的活動と安心して住み続けられるまちづくりをすすめてきました。現在、民医連に加盟する事業所は全国47都道府県に1,700箇所を超え、6万人を超える職員と医療生協組合員や友の会会員320万以上の人々と共に、医療・社会保障制度の改善をすすめる運動を展開しています。我々民医連の原点でもある「命の平等」を目指して…。



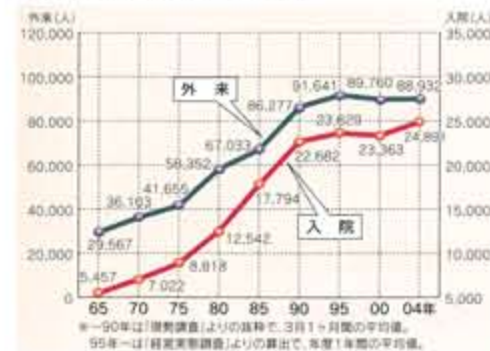
● 病院
● 診療所



共同組織構成員の推移



患者数の推移(1日平均)



データでみる民医連

職種別職員数

職種	2005年10月1日現在 人数(人)	
医師	正職員	3,290.0
	正職員以外	769.6
歯科医師	正職員	323.4
	正職員以外	29.6
薬剤師	2,488.8	
看護	保健師	286.2
	助産師	324.5
	看護師	18,207.3
	准看護師	3,864.7
	看護業務補助者	1,653.1
介護	介護福祉士	3,449.5
	ホームヘルパー その他の介護職	3,239.4 2,164.2
歯科	歯科衛生士	692.7
	歯科技工士	181.9
	歯科業務補助者	70.2
放射線	診療放射線技師	1,035.7
	診療X線技師	4.9
検査	臨床検査技師	1,604.8
	衛生検査技師	32.0
臨床工学士	345.2	
リハビリ	理学療法士	989.8
	作業療法士	825.4
	視能訓練士	50.8
	言語聴覚士	167.0
栄養	管理栄養士	502.1
	栄養士	166.4
	調理師	1,181.8
	調理員	603.4
マasseurシ師	61.2	
鍼灸師	86.3	
その他の技術員	427.3	
SW	社会福祉士	403.1
	精神保健福祉士	101.9
	その他のSW	297.6
保育士	333.8	
事務職員	10,470.6	
その他の職員	1,580.7	
合計	62,286.9	

主な医療団体との比較



民医連：各事業所数は2005年3月、病床・患者数は2004年3月、職員数は2005年10月現在。
 日赤：各事業所・職員数は2005年4月、病床数は2005年3月、患者数は2004年3月現在。
 厚生連・済生会：2005年3月現在。
 注：診療所数は歯科診療所を含まない。